

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	ケアの現場では認知症の方が快適に感じることができる生活環境を整えられる場所等が少なく、人材確保の難しさやハード面での限界がある。少ないマンパワーで効率よく認知症ケアの困難な状況に対応できる技術を身につけることが課題となっている。	職員全員が認知症の原因疾患別・重度別ケアの技術を身につけ、認知症の病気に対して理解を深め、それぞれの認知症の特徴をつかんでケア提供できるようにする。	現在行っているケアは間違っていないかを検証する。認知症の方のケア方法は、2つの方向性に分けられる。1つは、認知症の方の感じている現実、事実に沿って対応する方法。もう1つは、認知症の方の感じている現実ではなく、客観的な事実や本当の意味での真実に沿った対応の仕方かを見極めることから取り組んでいく。	12か月
2					か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。